

認知症

に関わるすべての人に知ってもらいたい、
行動・心理症状(BPSD)が起る「からくり」と、
その対応。認知症の人の文化、
そして暮らしをつくるために！



高橋幸男 著

認知症を受け入れる文化、そして暮らしづくり

2021年3月15日 第1刷発行

著作 高橋幸男 編集 出澤清明

発行者 菊池美範

発行所 株式会社 エイアールディー

〒107-0061 東京都港区北青山2-7-13 プラセオ青山ビル3F

http://www.ard-inc.co.jp

©2021 Takahashi Yukio

Printed in Japan ISBN-978-4-906978-40-3 C0047

著者の高橋幸男医師は、長年の診察経験やケアの実際の中から“からくり”を見つけました。そして「からくり」を知ることと、それを理解した上での対応が、BPSDの改善や消失につながることを、豊富な事例を取り上げて解いています。

特に、認知症の人と接することの多いケアマネージャーの方々の認知症の人への理解が、まだまだ足りないといいます。ぜひ、ケアマネージャーの方々にこの本を手にとっていただき、認知症の人の暮らしや文化を守る、という思いになってほしいともいいます。

この本にはBPSDに関する具体的な事例がたくさんあり、診療の現場やデイケア施設での介護を通して行った、さまざまな対応事例が出ています。

この本は **amazon** でどなたでも入手できます。

amazon 検索ウィンドウで以下の文言でヒットします。

本 ▾ 認知症を受け入れる文化 🔍

A5判並製 100ページ (1色)

オンデマンド版 (ペーパーバック) 税込 1,298円

Kindleストア ▾ 認知症を受け入れる文化 🔍

Kindle版 税込 880円

高橋幸男 精神科医、エスポータル出雲クリニック理事長・院長。1948年島根県生まれ、1974年東北大学医学部卒業、岩手県立南光病院、鳥取大学医学部附属病院を経て、1984年隠岐病院精神科医長、1987年島根県立湖陵病院医療局長、1991年4月エスポータル出雲クリニック開院。その後、重度認知症患者デイケア施設「小山のおうち」を併設、小規模多機能型居宅介護施設「おんぼらんと」や認知症高齢者グループホーム「おちらと」も開設。島根大学医学部臨床教授、日本老年精神医学会特別会員。著書に『輝く命を抱きしめて「小山のおうち」の認知症ケア』、『認知症はこわくない正しい知識と理解から生まれるケア』（いずれもNHK出版刊）。